

# 赤十字さが





感染症対策を講じながら行われたリーダーシップ・トレーニング・センター。(詳しくはP.7)

## 博愛のこころで世界とつながる。 ~佐賀県青少年赤十字100年の歩み~

- すべては被災者のために。「令和3年8月大雨災害」佐賀県支部の救護活動
- 献血にご協力いただける企業・団体を 募集しています!





Instagram開設! 公式Facebook更新中。



## 博愛のこころで世界とつながる。 佐賀県青少年赤十字100年の歩み~

#### 青少年赤十字(Junior red cross)とは…

世界の赤十字社・赤新月社では、赤十字の精神に基づき、人のために自ら考えて行動できる子どもたちの育成の ために、教育現場で、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標とした多様な活動を支援してきました。 これらの活動を「青少年赤十字」(Junior red cross)(以下JRC)と呼んでいます。

#### 発足から100年

来年2022年は、日本でJRCの活動がスタートしてからちょうど100年目にあたります。佐賀県でも、1926年に「佐賀支部 少年赤十字」という名称で発足して以来、多くのメンバー(JRCに加盟する学校の児童・生徒)、指導者の方々に支えら れながら、この活動を続けてきました。

100周年に向けて、全国の赤十字メンバーに募集し選ばれた記念ロゴマーク



#### 義援金・救援金の暴

当時、台湾で発生した水害に心を 痛めた全国の青少年赤十字団から、 日赤本社を通じて義援金が送られま した。この時、本社に寄贈を申し出た 27支部614団から計1,817円が贈ら れており、この中には佐賀支部の2団 からの寄託も含まれていました。

佐賀県のJRCメンバーは、発足当 時から現在まで、様々な義援金・救 援金の募集を行っています。

[ 写真:「NHK海外たすけあい」キー 時に街頭墓金を行うJRCメンバ





### 初のトレセン実施

佐賀県支部で記録に残されている最初のリ ニング・センターが、11月24日から26日まで、神埼郡三瀬中学校で 開催されました。もとは戦争の影響を受け衰退したJRC活動再建の ため、人材育成の場として全国に普及したのがこの研修です。

未来を担う子供たちに青少年赤十字の"こころ"と"リーダーとしての 資質"を学んでもらうことを目的に、現在も北山少年自然の家で毎年 開催されています。

[ 写真:昭和51年度 第28回佐賀県赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター集合写真(金立養護学校)]

### 海外留学生の受け入

トンガ王国のJRCメンバー2人の受 け入れを行いました。佐賀県のJRCメ ンバーはこのほかにも日本赤十字社 が行う交換留学や海外派遣事業に 参加し、世界中の国や地域のIRC× ンバーとの交流を続けてきました。

[ 写真:県内JRCメンバーによる歓迎会の様子]



#### 佐賀県のJRC加盟校数(校)





■…国際交流事業※を通じて交流してきた国・地域 ■…佐賀県青少年赤十字加盟校から救援金を送った国・地域 ■…左記2つに該当する国・地域 ※青少年赤十字の国際活動…各国姉妹青少年赤十字メンバーとのアルバムの交換、留学生の受け入れ、海外派遣事業へのメンバー参加等) [ 写真:トンガ王国のJRCメンバーと佐賀県JRCメンバー(歓迎会の様子)]





#### 青少年赤十字防災プログラムがスター

自分のいのちを守り、家族や学校、地域に防災意識を広める青少 年の育成を目指した、青少年赤十字防災プログラムがスタート。

県内の小・中学校及び高等学校や特別支援学校に冊子「まもるいの ちひろめるぼうさい」を配布し、教育現場での活用を呼びかけました。

また、2018年には幼稚園・保育園向け防災教材「ぼうさいまちさ がしきけんはっけん!」を配布。JRC加盟園の一つである「博愛の里 こども園」で園児たちとの実践を行いました。

[ 写真左:本社作成「まもるいのちひろえるぼうさい」冊子

写真右: 教材「きけんはっけん」を用いて園児たちに防災教育を行う様子(博愛の里こども園) ]

## 「コロナ禍での差別や偏見をなくそう!」

佐賀県支部では、学校からの依頼により講師を派遣し、AEDの使い方や 着衣泳等、ニーズに合わせて出前講座を行ってきました。 2020年、新型コロナウイルスの感染が拡大。

患者や医療従事者など への差別や偏見、いじめが 表出し、社会問題化したこ とを受け、コロナがもたらす 心の変化と対応方法を理 解し、よりよい行動を実行す る青少年を育成するための 出前講座、「コロナ禍での 差別や偏見をなくそう!」を 新設しました。

[ 写真:出前講座の様子(北茂安中



#### 会」設立 祭川副中学校にて開催

賀県支部、佐野常民顕彰会の共催により、 このフェスタの中心事業「全国博愛児童絵 多数の応募が寄せられています。

#### 年赤十字活動」冊子配布

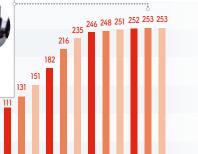
入されたことを受け、佐賀県支部ではJRC

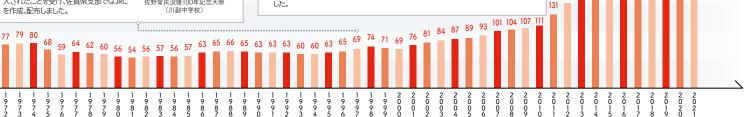


#### 2020年 Zoomで国際交流

▶ 隔年で開催している海外のJRCメンバー との交流が、新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、Web形式で開催され ました。佐賀県からも高校生4名、教師 1名が参加。18の国と地域の赤十字ユース メンバーと、「偏見のない世界をつくる」 というテーマのもの、意見交換を行いま







## すべては被災者のために。

「令和3年8月大雨災害」佐賀県支部の救護活動

## 感染対策を万全にし、被災者の救護活動に取り組みました

令和3年8月11日(水)から降り続いた大雨により、県内外の各地で甚大な被害が発生しました。

日赤佐賀県支部では、県内赤十字施設や日赤本社、県、各市町と連携しながら、特に被害の大きかった武雄市、大町町の避難所へのアセスメントチームの派遣や救援物資の配送、義援金の受付など、被災者の支援にあたりました。

## 医療救護活動

8/16(月)~8/18(水)の3日間、武雄市と大町町に派遣したアセスメントチーム\*は各避難所を巡回し、避難されている方々の健康状態や感染症対策の確認を行いました。

また、在宅被災者の方々の巡回訪問も実施しました。令和元年 8月豪雨災害に続き2度目の被災となる方も多く、そうした方々 に寄り添いながら、必要な支援を行いました。

※アセスメントチーム…看護師1名、業務調整員(事務職)1名で構成されます。



避難された方に健康状態等を訪ねるアセスメントチームメンバー

## 2防災ボランティア

平時から佐賀県支部赤十字奉仕団に登録していただいている 方々は、災害時の防災ボランティアとして活動するため、日頃 から研修・訓練を行っています。

今回は、特殊輸送奉仕団や看護奉仕団の方々に、それぞれの 奉仕団の特性を活かしながら、救援物資の配送やボランティア センターの保健対応などにご協力いただきました。





防災ボランティア活動の様子

## 3 救援物資の配送

日赤佐賀県支部では、災害時に備えて、佐賀県支部や各市町に備蓄している安眠セット、緊急セット、毛布などの救援物資を、要請に基づき避難所へ配送しました。



大町町公民館に救援物資を配送する様子

## 4 義援金の受付

「令和3年8月大 雨災害義援金」を県 内の赤十字3施設や 各市町で受け付け。

寄せられた義援 金は被災地に配分 され、被災された 方々に届けられます。



久光製薬株式会社様からの義援金贈呈の様子

## 佐賀県赤十字血液センター

## 献血にご協力いただける 企業・団体を募集しています!

お一人の献血で救うことができる患者さんの数は限られますが、お一人の方が他の方に お声をかけていただくことで何倍、何十倍もの患者さんのいのちを救うことができます。 多くの方にご協力いただくことのできる企業・団体献血は、とても大きな力になります。



### 献血バスを呼ぶ

#### 献血バス1台の配車にあたりお願いすること

献血の種類	体重/50kg以上 年齢/男性17~69歳*、女性18~69歳* 400mL献血 1年間に献血できる回数/男性3回、女性2回 ※65歳以上の献血は、60~64歳に献血経験がある方に限ります。
献血希望者数	1日/60人以上 半日/30人以上
献血バスの 駐車場所	全長/12m 幅/3m 高さ/4m ※バスの進入経路についても十分な広さが必要です。
受付場所の 確保	会議室、事務所 など ※献血申込書の記人、電子タブレットによる問診などを行います。
電源	2ヶ所(家庭用コンセント)
日程調整	およそ2ヵ月前まで

実施前の PRについて

- ○日時や場所を記入したポスター・チラシを準備いたします。 掲示および広報にご活用をお願いします。
- ○放送、朝礼、会議、メールなどでの積極的な周知にご協力をお願いします。
- ○献血PR映像による説明や、DVD貸出もあわせてご相談ください。

献血に要する時間

- ◎バス1台で1時間に献血できる人数は10名~12名です。
- ◎献血(受付・採血・休憩)に要する時間は、1人あたり40分前後です。
- ◎特定の時間帯に協力が集中すると、待ち時間が発生し、お1人あたりの所要時間が長くなることがあります。タイムスケジュールを作成していただくとスムーズです。





ご不明な点や詳細についてお気軽にお問い合わせください。 |お申し込み・お問い合わせ| 佐賀県赤十字血液センター 献血推進課 0952-32-1011

#### ■有田陶器市応援キャンペーン実施

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度の有田陶器市の開催は中止となり、有田陶器市会場内 献血も実施できなくなりました。

そこで、有田陶器市に携わるすべての皆様を応援するために「有田陶器市応援キャンペーン」を実施。 4月29日(木)から5月5日(水)の期間中、県内5つの商業施設及び佐賀県庁にて、献血をされた方先着 50名様に、有田焼のフリーカップを進呈致しました。 + April - May



6月

10休

## コロナ禍の差別や偏見をなくそう!

#### ■みやき町立北茂安中学校にて、第1回目の講座を行いました

佐賀県支部では、コロナがもたらす心の変化と対応方法を理解してもらうため、「コロナ禍での差別や偏見をなくそう!」と題し、小・中・高生向けの出前講座を、令和3年度新たに開設しました。

第1回目となる講座をみやき町立北茂安中学校で行い、受講した生徒からは「偏見を持たず、人同士ではなくウイルスと闘っていかなければいけないと思った。」といった感想が寄せられました。

今後も学校からの依頼に応じて、出前講座を行っていきます。

日赤作成ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~ 負のスパイラルを断ち切るために」や、日赤作成アニメーションを交えた佐賀県支部オリジナル教材を用いながら講座を行いました。







June

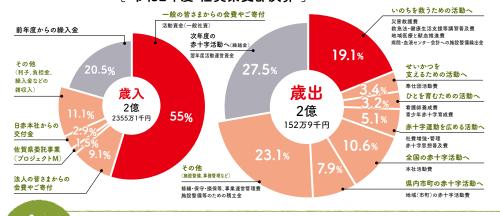
6月

## 令和2年度事業報告と収支決算が承認されました。

#### ■支部評議員会にて文書審議

評議員会は支部の最高議決機関で、毎年6月と2月に開催しています。今年度第一回目は、文書による審議を行い、支部及び唐津赤十字病院の事業報告と収支決算が承認されました。

「令和2年度 佐賀県支部決算〕



- 注1) 前年度からの繰入れ及び次年度への繰出しは、 年度当初の運転資金確保のために行っています。
- 注2)被災者の方に全額お届けする「災害義援金」は、 含めていません。
- 注3) 歳入と歳出の差額(22,022千円)は、災害義援金 の会計処理上生じたものです。

#### ■唐津赤十字病院

令和2年度 医療施設特別会計決算(千円)

収 入	9,358,418
支 出	8,932,162
差引	426,256

**6**月 24<sup>(未)</sup>

### 職員に訓示「博愛の精神を引き継いで。」

#### ■新支部長に山口祥義知事が就任

指山前支部長の後任として、6月15日(火)、山口祥義知事が佐賀県支部の新支部長に就任しました。

支部で行われた職員訓示式では、山口支部長から職員に対し、「人を救うのは、人です。佐賀出身の佐野常民が創設したこの日本赤十字社において、その博愛の精神を我々が引き継ぎ、ともに赤十字の使命を果たして参りましょう。」との力強い言葉がありました。





[写真右:訓示式の様子。写真左:佐賀県が推進するプロジェクトM\*の一環で、医療資器材等を保管している災害救護倉庫を見学する支部長。] ※新型コロナに対応した医療提供体制強化を行うプロジェクトで、その業務の一部を日赤佐賀県支部が受託しています。

### コロナ禍でも災害に備えて

#### ■支部常備救護班研修会を開催

「令和3年度 日本赤十字社佐賀県支部 常備救護班研修会」を唐津赤十字病院にて行いました。 参加した常備救護班4班のメンバー並びに運営スタッフの合計30名(医師、看護師、事務職員)は、 赤十字の災害救護活動の歴史や最近の救護活動の実際についての講話を受講した他、エアテント の設置方法や無線機の使い方を実演により学びました。



エアテント設置訓練の様子

## 平日午後の成分献血に、ご協力お願いします!

■アフタヌーン献血キャンペーン実施

現在、平日の午後に成分献血のご協力が少ない状況が続いています。

そこで、献血プラザさがでは、7月1日(木)から、平日の午後にご予約で成分献血をしていただいた 方に、"ちょっとした"プレゼントを進呈しています。

このキャンペーンは今後も実施予定ですので、お時間のある方はぜひ平日午後の成分献血に ご協力をお願い致します。



※写真は、8月のキャンペーンで 進呈したマスクケースです。

August

### 「ありがとう」を形に。

#### ■唐津赤十字病院移転5周年特別企画「フォトモザイクアート」を設置

2021年(令和3年)8月1日、唐津赤十字病院は移転5周年を迎えました。 地域の皆さま、関係機関の皆さまに対して感謝申し上げます。雄大な虹の 松原のように唐津の街を支えられる存在となれるよう、これからも地域医療 に貢献して参ります!

これを記念して、唐津赤十字病院ではフォトモザイクアートを作成し、1階 患者ラウンジに展示しておりますので、病院にお立ち寄りの際はぜひご覧 ください。



1階患者ラウンジに展示されているモザイクアート

近くで見ると当院職員の写真が、離れてみると病院の外観が浮かび上がってきます。



### リーダーとして必要なことは?

#### ■北山少年自然の家で、

「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催

佐賀県支部では、毎年夏休みに県内の青少年赤十字加盟校の児童・生徒を対象とした「リー ダーシップ・トレーニング・センター」を開催しています。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大 の影響により中止となりましたが、今年度は感染症対策※を講じながら開催しました。

※マスクの着用・手指消毒の徹底、参加人数の制限、日程の短縮(日帰りでの研修)等。



[写真:小学生のフィールドワークの様子。(グループで協力することを学ぶため、アイマスクを着用し、声を掛け合いながら森を歩きました。)]

## 赤十字 Supporters

## 献血協力者 相良隆弘さん



【献血カードを手に笑顔を見せる相良さん】

令和2年12月に献血200回を達成した元教職員の 相良さん。その大きな喜びを佐賀新聞に投稿され、 令和3年2月8日に掲載されました。

~献血は人間を救える社会貢献~

手元に残る一番古い献血履歴は平成4年8月ですが、 それ以前から献血を続けてこられました。

在職中は機会があれば、自分の健康管理のため、 そして何より輸血を必要としている患者さんのために 献血をされていました。退職後は"献血プラザさが"にて、 約2週間に1回(年間上限24回)、成分献血を行うのが 相良さんにとっての日常となっているといいます。「献血 カードに印字される献血回数が増えていくのが楽しみ。 ポイントカードにポイントが貯まっていくような感覚。」

日本赤十字社では、献血にご協力いただいた方へ感謝 の気持ちとして、7項目の生化学検査成績および8項目 の血球計数検査成績をお知らせしています。相良さん はこの血液検査データをパソコンに保存し、ご自身の 健康管理に役立てているそうです。「病院で血液検査 をしたらお金がかかるでしょ?献血をすれば無料で血液 検査データがいただける。献血ができることは健康の 証と認識し、喜んで献血をしている。」

学生時代は勉強に部活、遊びに夢中で、自分の体や 健康に余り関心がなかったそうですが、元々「献血」の 存在を知っていたことが、社会貢献としてはじめるきっ かけになったそうです。「今の若い人たちにも献血の実 態を知って欲しいし、献血を恐れないで欲しい。献血 は"人間を救うのは、人間だ"という日赤のスローガンの とおり、人間を救うことのできる社会貢献だと思う。」

献血可能期間である70歳の誕生日前日まで残り1年。 「献血ができなくなるのは寂しい。2週間に1度の献血 のために、献血プラザへ出かけるのが楽しい日常となっ ている。」健康な体で最後まで献血ができるよう、血 液検査データのチェックに余念がありません。

血液事業は多くの方のご協力により支えられています。 興味のある方は、ぜひ佐賀県赤十字血液センターに お問い合わせください。





佐賀県支部

TEL.0952-25-3108 〒847-8588 唐津市和多田2430番

唐津赤十字病院

〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20 佐賀県赤十字血液センター TEL.0952-32-1011

TEL.0955-72-5111

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号



ご愛読 ありがとうございます。